



9月1日は「防災の日」です。自然災害が多い日本では、常に災害に対する備えが必要です。食料や水の備蓄も大切ですが、救急箱の内容点検や常備薬の準備も忘れないようにしましょう。持病のある方や、治療中の方はいざというとき慌てないよう、緊急時の対応について医師に相談しておきましょう。もし緊急時の対応に困ったときは、ファミリー健康相談にお電話ください！ヘルスアドバイザーと顧問医師が連携して適切なアドバイスをします。

ヘルスアドバイザーから
今月の一言

ビールを飲むと
ビール腹になる？

ビールを飲むと「ビール腹になる」とよく言われますが、本当でしょうか。ビールは麦芽などの原料を発酵させたお酒でアルコール以外の糖質を含みますが、焼酎は発酵液を加熱、蒸留したお酒でアルコール以外の糖質を含みません。お酒の適量（純アルコール約20g相当量）でカロリーを比べると、ビール（中瓶1本強・540ml）は216kcalで、焼酎（35度で0.5合弱・70ml）は144kcal、同じ酔い心地でも糖質を含む分だけビールの方が高カロリーです。これが“ビール腹”という言葉を生み、ビールは太るといったイメージを与えたのかもしれない。お酒は満腹感を得にくく、飲み過ぎたり、つまみの量が増えたりと摂取カロリーは増えがちです。例えばおにぎり1個は168kcalですが、これは適量の焼酎とほぼ同じです。つまり、ビールだけが“ビール腹”を作るわけではなく、余分なカロリーが内臓脂肪となり、ビール腹を成長させるのです。健康のためにも、適量の飲酒を心掛けることが大切です。肝臓のためにも1週間のうち2日は休肝日にしましょう。

ファミリー健康相談では、こんな相談が…

Q: 6歳になる子どもが溶連菌感染症になりました。薬は飲んでいるのですが熱が下がりません。このまま様子を見ても大丈夫でしょうか？

A: 発熱は1週間ほど続く場合があります。起きて元気があるようなら様子を見てみましょう。発熱に対しては、保冷剤などを使用して脇の下や足のつけ根を冷やし、水分をこまめに摂るようにしましょう。尿量が減少したり、元気がなくなった場合は再受診してください。

Q: 先ほど夕食をすませたのですが、上半身に膨れあがった発疹が出はじめてとても痒いのです。原因はわかりませんが、急いで受診した方がよいでしょうか？

A: 夕食にサンマを食べたとのことなので、青魚による急性蕁麻疹の可能性が考えられます。発疹が全身に広がる場合は、夜間でも受診してください。今から1時間くらいのうちに唇が腫れ、呼吸が苦しくなった場合は、アレルギーによるアナフィラキシーショック症状なので、直ちに受診してください。自力で病院まで行けない場合は、救急車を利用することも考えてください。

Q: 頭が締め付けられるような頭痛が2週間以上も続き、鎮痛剤でも治まりません。最近では手足がしびれ、足全体が痛みます。また、胃の痛みもあり、一日中吐き気がする日もあるのですが、何科を受診すればよいでしょうか？

A: 頭痛の原因は頸椎や脳の病気、眼精疲労などが考えられます。新たに増えた症状は、頭痛が続き、身体にストレスがかかっていることや、鎮痛剤の服用で胃に負担がかかっていることによると考えられます。早急に内科、または脳神経外科を受診してください。

ご自分の健康、ご家族の健康で気になることがあったなら、ファミリー健康相談に相談です！
相談専用電話番号は各健康保険組合のホームページまたは健康保険組合発行の冊子等をごらんください。